イザヤ62章グローバル祈りと断食の21日間 (2023年5月7日～28日)

5月7日～28日の21日間、**1日少なくとも1時間**、エルサレムとイスラエルに対する神の救いの約束と計画が拡大するように、100万人以上の信者と共にイスラエルのために祈りませんか。一人で祈る人もいれば、2人以上で(マタイ18:20)、自宅や職場、寮や教会などで、オンラインまたは実際に会って祈る人達があります。

ルー・エンゲル、ジェイソン・ハバード、マイク・ビッケルなど数千のミニストリーの協力により、**100万人の信者**が世界的な**聖なる集まり**(5月7日から28日)に参加し、様々な方法で断食をしながらイスラエルのための主の目的を祈り、イザヤ書62章6節の主の約束に従って、イスラエルのための執り成し手が1億人起こされるよう主に求めるのです。これらの執り成し手達は、主がエルサレムとの約束をイエスが再臨されるその日まで思い起こさせるために、主権的に「召し出される」でしょう。イザヤ書62章6節は、今、地球上で加速度的に広がっている終末のための約束です。

エルサレムよ。わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。
昼の間も、夜の間も、彼ら(執り成し手達)は決して黙ってはいはならない。
主に覚えられている者たちよ。黙りこんではならない。
主がエルサレムを堅く立て、この地でエルサレムを
栄誉とされる(イエスの再臨の時)まで、黙ってはいはならない。
イザヤ62章6-7節

3月7日の発表から10日間で、30万人以上がこの断食に参加することを表明しました。5月7日にはその数は100万人を突破し、彼らは皆様々な方法で21日間の断食を行うでしょう(水だけの断食、野菜やジュース断食、1日1食断食、食べ物ではなく「メディア断食」等々)。

Isaiah62Fast.comのウェブサイトでは、21日間(5月7日～28日)、定期的に参加者の皆さんへ役立つリソースなどをお知らせする「ハブ」となる教会、ミニストリー、聖書研究会、青年会などの情報を掲載しています。もし、あなたの教会やミニストリーの情報をIsaiah62Fast.comに掲載したい場合は、リンクをクリックして詳細を確認してください。

IHOPカンザスシティの祈りの部屋は、イスラエルのために3週間(5月7日～28日)毎日24時間ノンストップで礼拝し、祈ることを約束します。IHOPカンザスシティのフルタイムミニストリースタッフの300人以上が、21日間、1日6～12時間、祈りの部屋で祈ることを個人的にコミットしています。私は、彼らが通常の仕事の多くを犠牲にして、このように仕えてくれることに感謝しています！IHOPカンザスシティの祈りの部屋は、この活動に取り組んでいる多くの拠点(ハブ)のひとつにすぎません。あなたの教会やミニストリーもハブになる方法についての詳細は、Isaiah62Fast.comまたは[Isaiah62 FastのFacebook](https://www.facebook.com/Isaiah62Fast)ページ(英語)をご覧ください。

参加者は様々な終末論的立場をとっています。[イザヤ書62章のウェブサイト](http://Isaiah62Fast.com)は、どのような**終末論的立場**であるかは明記していません。どのような立場であっても、エルサレムとイスラエルのために21日間祈るよう呼びかけています。

なぜ1億人なのか？

長年にわたり、主はイスラエルのための**1億人**の執り成し手という数を様々な人々に与えてきました。エリック・ワット、ジェイソン・ハバード(IPC)と彼のチームが近年何度もIHOPKCを訪れています。彼らは、**1億3千万人の信者からなる5,000以上の祈りのネットワーク**を統括するリーダーであり、彼らとは定期的にコミュニケーションをとっています(最初はこの数字が信じがたいものでした)。彼らの最近の訪問(2022年12月)では、この**5,000以上の祈りのネットワーク**のリーダーと、それに繋がる**1億3千万人の執り成し手**たちが、**2023年に4回**、地球の同じ地域のために祈る「110cities.com」というグローバルミッションの取り組みがあることを聞きました。1億人以上の信者が1年に4回、同じ日に同じ地域のために祈るとするのは、歴史上初めてのことだと思ふと感無量です(ヨハネ17:21-23参照)。

この1億人の人たちは、2023年1月22日に中国のために祈りました。彼らは4月17日に中東のために、**5月28日にはイスラエル**のために、10月31日にはインドのために祈ります。この1億人の信者は、イエスとその大宣教命令に深くコミットしています。しかし、彼らの多くは、イスラエルに対する主の聖書的な目的にはまだ繋がっていません。ですがその彼らも、5月28日のこの1日は、1月22日に中国のためにしたように、イスラエルのために祈るのです。

しかし、5月28日までの21日間、**100万人以上**の執り成し手たちが断食して祈り、「聖霊が待ち伏せ」して、この1億人の心に、イスラエルの目的のために印をつけてくださるよう祈るのです。

なぜ、私たちはエルサレムやイスラエルのために祈ることを大切にしているのでしょうか？
イスラエルが国として悔い改め(使徒3:19)、イエスがメシアであることを告白(マタイ23:39)することは、イエスの再臨、大宣教命令、全世界が「死者の中から生き返ること」(ローマ11:15)と深く結びついています。詩篇118:26にあるように、エルサレムの指導者たちがイエスをメシアとして認めるまで、イエスは再臨されません。

ああ、エルサレム、...「祝福あれ。主の御名によって来られる方(彼らがメシアと認めたイエス)に」とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたし(イエスの再臨)を見ることはありません。

マタイ 23:37-39

あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。... イエスを、主が遣わしてくださったためなのです。このイエスは、神が昔から、聖なる預言者たちの口を通してたびたび語られた、あの万物の改まる時まで、(父の右の座である)天にとどまっていなければなりません。

使徒の働き 3:19-21

パウロは、終末の時代に神が異邦人信者を用いてイスラエルの民にねたみを起こさせ、彼らがイエスの救いを受け入れることを教えています。

...救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。...そして、それによって何とか私の同国人にねたみを引き起こさせて、その中の幾人でも救おうと願っているのです。もし彼らの捨てられることが世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。

ローマ 11:11-15

私たちは、この21日間の**世界的なイザヤ書62章断食**が、今この時、国々のキリストの体において、イスラエルに関する聖書的な会話を加速させる起爆剤になると信じています。この断食は、5月28日のペンテコステの日曜日に終わります。この日、ジェイソン・ハバード、エリック・ワット、そして「110 Cities」チームを通して、2023年に4回この方法で祈り手を動員するという神の呼びかけに応えた1億人の信者も、イスラエルのために共に祈ることになるのです。

[110 Cities.com](http://110Cities.com)—4月17日には、同じ1億人の信者が中東全域のために祈ります。詳しくはこちらのサイトをご覧ください。

私たちの知る限り、イスラエルのための神の約束のために、**21日間、毎日24時間**、何千人もの人々が祈り続けることは、**歴史上初めての**ことでしょう。この祈りの取り組みのユニークさは、それ自体が時代のしるしであり、神が「**まだ創造されていない世代のために定められた時**」(詩篇102:13、18)を加速させるものなのです。

あなたは立ち上がり、シオンをあわれんでくださいます。

今やいつくしみの時です。定めの時が来たからです。

... 次のことが、後の時代のために書きしるされ、新しく造られる民が主を賛美しますように。

詩編 102:13-18

この21日間の断食は、「**世界的なエステルの時**」(エステル4:14-16)となるでしょう。何百万人もの信者が祈りを捧げ、聖書に見られるようにイスラエルへの神の目的を大胆に宣言し、反ユダヤ主義が高まる中、イエスが再臨されるまでイスラエルと共に立ち上がる、最後の究極の世界的エステルの瞬間(ゼカリヤ14:1-5)へ大勢を導くきっかけとなるでしょう。この断食は、イスラエルがいくつかの非常に重要な政治的危機に直面している今、とても大きな意味を持ちます。

「もし、あなたがこのような時に沈黙を守るなら、別の所から、助けと救いがユダヤ人のために起ころう。あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。」エステルはモルデカイに返事を送って言った。「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」

エステル 4:14-16

エルサレム祈りの家 [jhopfan.org]を36年間導いてきたトムとケイト・ヘス夫妻、エルサレムで20年近くスッカト・ハレルを導いてきたリックとパトリシア・ライディングス夫妻 [succathallel.com]、その他この20数年間、イスラエルのために定期的に祈るミニストリーが設立されてきたことにとっても感謝しています。

この断食では、イエスを最高の賛美で称え、神のエルサレムへの祝福が大宣教命令を果たすことにつながっていることに焦点を当てます。私たちは、ヨハネ17:21-23にある霊の一致を持って、ますます共に立ち上がっていきましょう。

100年以上続く24時間365日の祈りと史上初のプロテスタント宣教運動を組み合わせたジンゼンドルフ伯爵の驚くべき物語を伝えるジェイソン・ハバード著「**モラヴィアの奇跡**」のデジタルブックを無料でダウンロードできます。このPDF版eブックは Isaiah62Fast.com でご覧いただくか、YouTubeで彼の物語をご覧ください。